

古い低圧進相コンデンサからの火災に注意してください！

低圧進相コンデンサとは

低圧進相コンデンサは、工場や作業所のモーターで稼働する設備や店舗の業務用冷蔵庫等の電気機器の力率を改善する目的で配電板や配電盤に設置されています。

※商品の外観はメーカーにより異なります。



低圧進相用コンデンサ

昭和50年（1975年）以前に製造された低圧進相コンデンサは、経年劣化により寿命領域にあり、場合によっては火災に至る危険性があります。早急にご使用を停止、お取替えをお願いします。

※昭和50年以前に製造された低圧進相コンデンサには、保安装置が内蔵されておりません。製造年はコンデンサ正面に貼られた銘板をご確認ください。

火災発生時期の傾向

気温が高くなる夏場にかけて全国的に多発しています。夏場の高温多湿な時期に、低圧進相コンデンサ内の絶縁材料が劣化して発熱をおこし、危険な状態となります。

発火防止には

機器を使用しないときはメインブレーカーを切ることが推奨されています。また、今後使用する見込みがないときは、取り外す等の処置を電気工事業者に依頼するようにしてください。

- ・昭和50年以前に製造された製品は、使用を停止し、取り替えが必要です。
- ・10年以上経過した製品は、専門業者による点検を受けるようにしましょう。

お問い合わせ先

十日町地域消防本部 予防課 所在地/〒948-0007 十日町市四日町新田 1041 番地
電話番号/025-757-1557 FAX/025-757-8499 E-mail/ tfd119@tokamachi-kouiki.jp